



「いざという時」よく耳にする言葉ですが、実際に「いざという時」が来た場合、自分がどのような行動をするか、周りの人と、どのように助けあうか考えたことがありますか。

災害は起こっては困るけれど、避けることはできません。そんな時に少しの知識や経験があれば、「互助」で乗り越えることができるかもしれません。

綿打地区 綿打中学校防災教室



綿打中学校は図書室に「災害に関する本」や「保存食」などが常設されるなど、日頃から防災に対する意識が高く、令和4年度からは防災士による防災教室が開催されています。

きっかけは新田地区民生児童委員協議会長の関口忠さんに中学校の関係者から「災害時に綿打中学校が第二避難所になっているけれど、詳しいことがよく分からない」という話があったこと。

関口さんは防災士としても活躍しており、避難所の説明を買って出たことが防災教室につながりました。

令和5年度はJRC委員会、安全委員会の1・2年生50人と綿打地区民生委員が参加し「自然災害が起きたときの行動について考えよう(その時あなたは どうしますか)」と題し、民生委員と交流しながら生徒ひとりひとりが考え、自分の意見を発表する形で行われました。



図書室の災害に関するコーナー

地域のお宝発見～太田市生活支援体制整備事業～



せきぐち ただし

防災士 関口 忠さん 新田地区民生児童委員会 会長

災害はいつ起こるか分かりませんが、誰にでも起こる可能性があります。今日の講座が防災について考えるきっかけになればと思います。

クロスロードゲーム

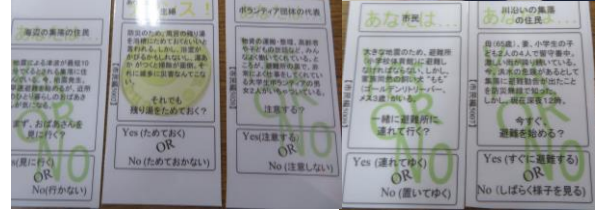


各グループに民生委員が進行役として加わりクロスロードゲームを行いました。

クロスロードゲームは文部科学省「大都市大震災軽減化プロジェクト」が推奨している、災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を参加者同士で共有するゲームです。

カードに書かれたテーマの状況を想定してYESかNOのカードを提示し自分の考えを述べます。

ポイントは「人の意見を否定しない」



テーマ 自然災害が起こった時の行動について考えよう

テーマ
の一例

あなたは…市民。大きな地震のために避難所（小学校体育館）に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼犬（ゴールデンレトリバー、メス3歳）がいる。一緒に避難所に連れて行く？

YES! 犬は家族。もちろん連れて行く。

YES。もちろん連れて行く。置いていくなら避難所に行かないかも

NO。連れて行きたいけれど犬が嫌いな人もいるし集団で過ごす場に連れていけないと思う。

ちなみに・・・令和4年度に開催された防災講座のテーマは避難所運営

- ・どんな人が来るのか？
- ・1度にたくさんの方が来るがパニックにならないようにするには？
- ・受付・案内板をどこに置くのか？
- ・感染症の人が来たらどうするのか？
- ・ペット類はどうするか？

などをテーマにグループ別に意見交換が行われました。



★チェックポイント★

いざという時の状況や行動を事前に考えることにより、防災意識が強まるだけでなく、思いやりや責任感も育まれます。また、普段顔を合わせる機会が少ない民生委員と生徒が交流することにより顔見知りの関係が生まれ地域の輪が広がります。

地域のお宝情報を募集しています!

「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問い合わせまでお願いします!



≪つながる通信はこちら!≫

Instagramはこちら!⇒



○お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 太田市飯塚町1549

TEL 0276-46-6208

FAX 0276-46-6229